

主な内容

- 一般質問議員と質問項目……………1
- 一般質問から……………2・3
- 9月定例会 議案等審議結果一覧……………3
- 主な質疑……………4
- 令和2年度決算審査……………4・5



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより



烏山学^{オウサンガク}+ 成果発表会を議場で開催しました！(令和3年10月4日)

9月定例会が9月7日(火)に召集され、9月21日(火)までの15日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は3ページに掲載しています。

※議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第193号」をご覧ください。会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字になった項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。



村上 進一 議員

- 1 ふるさと納税の現状と今後について
- 2 下水道事業の「ストックマネジメント」計画策定について
- 3 県の「とちぎの道路・交通ビジョン2021」策定に伴う市の将来像について
- 4 SNS被害に対する市の取り組みについて



中山 五男 議員

- 1 烏山地区下水道処理施設の浸水対策について
- 2 保育園内の新型コロナウイルス感染症について
- 3 新型コロナウイルススワクチン接種計画及び対策について
- 4 新聞を教材にした学校教育について



青木 敏久 議員

- 1 新型コロナウイルスワクチン接種の推進及び障がい者、要配慮者等の対応について
- 2 太陽光発電設備等による災害対策について
- 3 ふるさと応援寄附金の現状と推進方策及び商品開発について



堀江 清一 議員

- 1 市内の耕作放棄地について
- 2 防災行政無線のデジタル化について



相馬 正典 議員

- 1 熊田診療所について
- 2 龍門ふるさと民芸館について
- 3 烏山体育館について
- 4 過疎指定について
- 5 烏山城跡の国史跡指定に向けた進捗状況について



平塚 英教 議員

- 1 新型コロナウイルス対策について
- 2 流域治水関連法改正について
- 3 那珂川緊急治水対策プロジェクトについて
- 4 市内ヘリポートの増設について
- 5 道路案内の増設について



滝口 貴史 議員

- 1 学校教育について
- 2 熊田診療所の在り方について
- 3 AED設置状況と市職員の救命講習受講状況について



興野 一美 議員

- 1 太陽光発電施設と防災について



小堀 道和 議員

- 1 3期目の教育長に期待すること
- 2 本市のSDGsの取り組みについて



矢板 清枝 議員

- 1 農業の振興について
- 2 コロナ禍における女性の負担軽減について
- 3 企業版ふるさと納税のさらなる活用について



荒井 浩二 議員

- 1 こども医療費助成制度の拡充について
- 2 キャッシュレス決済への対応について
- 3 マイナンバーカードの普及と活用について
- 4 八溝そばブランドの育成と展開について

議会の動き

令和3年7月

31日○議会だより第61号発行

8月

6日○議会運営委員会
○議員全員協議会
○第4回8月臨時会

9月

31日○議会運営委員会
○議員全員協議会
○防災対策調査特別委員会

7日○第5回9月定例会

(9月21日まで)

8日○議会広報委員会
10日○議会改革特別委員会

14日○各常任委員会
(9月15日まで)

21日○議会運営委員会
○議員全員協議会

10月

11日○避難所設置訓練
視察
12日○議会広報委員会
20日○議会広報委員会
25日○議会運営委員会
○議員全員協議会



令和3年9月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
一般質問の記事は各議員が作成しています。

村上進一議員

県の「とちぎの道路・交通ビジョン2021」策定に伴う市の将来像について

(問) 本ビジョンの中で県は、八溝縦貫道路構想を打ち出している。八溝縦貫道路建設に伴い、市はどのような将来像を考えているか、市長の見解を伺う。

(答) 本ビジョンにおいては、県域を越えた広域幹線道路網として八溝縦貫道路の整備が挙げられている。八溝縦貫道路の整備が実現すれば、茨城県や福島県との広域的な連携が一層強化され、沿線上の各地域に存在する多彩な地域資源を連携させることで、産業と観光の振興による地域の活性化に大きく寄与する。また、災害発生時における広域的な代替道路網としても活用でき、国土強靱化の面からも有効な社会インフラとなる。本ビジョンの将来像である、「誰もが、いつでも、どこでも、安全・安心・快適に移動できる持続可能な社会」の実現に向けて、八溝縦貫道路の恩恵を最大限生かし、広域的な自治体間の連携強化により、地域経済発展と地域課題の解決を両立できる市政運営につなげてまいりたい。

中山五男議員

保育園内の新型コロナウイルス集団感染について

(問) 新型コロナウイルス感染症防止策には、市民に向けて「三密を避けること・マスク着用・手洗いの励行・不要不急の外出自粛」などを強く求めているにもかかわらず、市役所内部組織の保育園での集団感染発生は誠に残念である。

公共施設の中でも保育園は乳児を含むことから、感染防止には特に万全を期すべきであり、園内での発生は重く受け止めるべきである。

そこで、集団感染の原因は何か。ウイルスが保育園に降つてわいた訳ではない。感染経路を突き止めることができたのか。今後の感染防止策を含め伺いたい。

(答) ここに保育園内の集団発生は残念であり、皆様方に大変御心配をかけてしまった。保健所で調査した結果、感染経路を特定できなかった。職員の行動記録からも陽性者との接触が確認されていない。

今回の事案を教訓に、保育園では家庭内での健康観察の徹底や保育室での園児

のマスク着用、消毒などを行い、感染防止に努めている。

青木敏久議員

新型コロナウイルスワクチン接種の推進及び障がい者、要配慮者等の対応について

(問) 障がい者の接種する時間帯、車中での接種、駐車場の経過観察等きめ細かい対応について伺う。

(答) ご相談のなかで必要な対応があれば、可能な限り対応してまいりたい。

(問) キャンパスライフが送れず、自分が社会に必要な学生もいる。接種済の学生に第2弾の「学生応援ふるさと便」はどうか。

(答) ワクチン接種と絡めると強制力が働いてしまう。また、地元の学生には有意義なものではなくなってしまうため、ワクチン接種と分けて検討する。

ふるさと応援寄附金の現状と推進方策及び商品開発について

(問) 本市にあって他にないものに、高評価を得ている洞窟酒の「洞窟」がある。熟成をキーワードに、洞窟の物語に熟成の付加価値を加えたコラボ商品を派生させてはどうか。

(答) 他商品とのコラボレーションは良案である。マーケティングに努めていきたい。



低温でじっくり熟成させるどうくつ酒蔵

堀江清一議員

市内の耕作放棄地について

(問) 耕作放棄地を減らす意味で圃場整備は有効であるが、市として前向きに考えているか伺う。

(答) 圃場整備には、10年ほどかかる。集落営農や担い手の確保等が計画されていることを確認させていた。また、意欲のある集落の取組に対して、関係機関と連携を図りながら支援していく。

防災行政無線のデジタル化について

(問) 防災対策調査特別委員会において全会一致で防災行政無線の設置を要望した。市長は防災行政無線の設置をどう考えているのか伺う。

(答) 議員全員の意見として十分重く感じているので、検討させていただく。

(問) 市長のトップダウンで、やると言えば、設置は可能である。清水川せせらぎ公園の改修工事と市民全体の安心安全のために市内全域に防災行政無線を設置するのは、どちらが優先されるか伺う。

(答) 前向きに検討している。今ここで市内全域に設置するとは、はっきりとは言えない。

相馬正典議員

過疎指定について

(問) 令和3年度に烏山地区が過疎地域に指定された。この指定によって本市には、どのようなメリットとデメリットがあるのか伺う。

(答) メリットの1つ目は、過疎対策事業債が活用できることである。過疎地域持続的発展計画の事業に対し、特別に発行が認められる地方債で、道路や施設整備のほか、地域医療や住民の交通手段の確保などに関する事業が起債の対象となる。

2つ目は、地方税の減収補填措置で、産業振興の促進のため、一定金額以上の資産を取得した特定業種の事業者の固定資産税を免除した場合、減収分の75%が普通交付税で補填される。

3つ目は、国庫補助金のかさ上げ措置で、小中学校の統合に伴う校舎の新増築などに対する国の負担割合が引き上げとなる。

4つ目は、県による代行整備制度で、国の指定基準を満たした基幹的な道路について、県が市に代わって事業を代行できる制度である。

デメリットについては、特に制度上はないが、市のイメージダウンにつながるような持続可能なまちづくりを進めていく。

平塚英教議員

流域治水関連法改正について

(問) 国土交通省は、同法改正の目玉の一つとして、利水ダム事前放流の制度化を挙げ「事前放流ガイドライン」を策定している。本市上流には那珂川本流および荒川を含めた那珂川水系の複数のダムがあり、改めて水害防止・洪水対策として利水ダム事前放流が着実に有効活用が図れるよう、本市として調査研究と対策強化に努められたい。

(答) ダムの事前放流について、令和2年4月、国においてガイドラインが策定され、県内ダムは同年5月、治水協定に基づき令和2年の出水期から洪水被害の防止・軽減を目的に、事前放流の運用を開始している。大雨が予想された場合の事前放流により災害を最小限に抑えることが期待されているが、事前放流しても予想を超える豪雨でダムが満水となれば、緊急放流が必要となり、流域住民に対し避難指示等の発令が必要となる。市では本年7月にダム管理者と協議している。事前放流の情報提供について、各種情報伝達ツールを活用し迅速な情報発信に努めてまいりたい。

滝口貴史議員

学校教育について

(問) 6月定例会において一般質問した「本市の小中学校

校の施設の将来像について」の進捗状況を伺う。

(答) 現在進行しているコミュニティ・スクールを母体とした、烏山中学校区の小学校3校と中学校1校、南那須中学校区の中学校1校と小学校2校というグループで、9年間を通した小中一貫教育をさらに充実させていく。また、令和4年度から境小学校を小規模特認校に指定する手続きを進めており、少人数教育の充実についても併せて進めていく。

(問) 令和3年度中に学校再編検討委員会を作る予定はあるか伺う。

(答) 複式学級がやむを得ないということが何年か続けば、再編検討委員会を立ち上げて、検討していかなければならないが、現在はまだ複式学級化も決まっていないので今後、地元住民の意見等を聞きながら、方向性を定めていくこととなる。



小規模特認校指定の手続きを進める境小学校

興野一美議員

太陽光発電施設と防災について

(問) 本市に太陽光発電施設は何か所設置され、また面積はどのくらいあるか。そのうち山林に設置してある箇所と面積を伺う。

(答) 平成24年7月以降から令和2年度末までの間、事前協議を終了した太陽光発電施設は35件であり、現在稼働している施設の総面積は287万9036平方メートル。そのうち、203万696平方メートルが、地目上での山林に設置する申請内容となっている。

(問) 太陽光発電施設には、貯水槽も水道も井戸もなく、防火対策がない巨大施設である。ソーラーパネルは簡単に燃え、防火設備もゼロで、電圧も高く、非常に危険な施設であり、太陽光発電設備の火災は、住宅火災とはわけが違うが、対応について伺う。

(答) 消防団活動については、後方支援という立場だが、山林のソーラーパネルや太陽光発電施設の火災の消火活動については、今後消防署と情報共有し、対応していきたいと考えている。

小堀道和議員

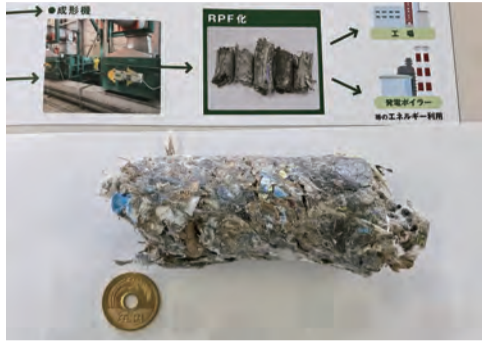
本市のSDGsの取り組みについて

(問) 以前の一般質問で香川県三豊市で採用している、トンネルコンポスト方式の採用を質問したが、固形燃料の買手がなく諦めているとのこと。化石燃料を燃やさず、効率の良い固形燃料が産出され、高額な補

修費が発生しない一石三鳥の本方式を採用すべきである。

南那須広域と同じ年間1万トのごみ処理を民間企業に年2億円で発注することで(南那須広域は年3億6000万円)、設備投資費の市負担分ゼロを実現している。

専門業者に相談したが、固形燃料の購入先や利用方法はありそうとのこと。三豊市同様、市長のトップマネジメントで検討していただきたいが見解を伺う。



バイオで処理されたゴミから産出される固形燃料

(答) 南那須広域のごみ処理施設整備は、処理方式を含めた検討が行われ、今年度にごみ処理施設整備基本計画が策定される。三豊市では、処理施設を民設民営で運営し、固形燃料の供給先と全量引受けの確約を取り付けている。しかし、本市は、まず、相手先を探す等、かなりの方向転換になるので慎重に検討したい。

矢板清枝議員

農業の振興について

(問) 本市の農業の将来について、今後どのような施策を展開するのか伺う。

(答) 農業後継者や担い手の育成確保は、本市の基幹産業である農業の維持、発展に必要不可欠である。小中学生や高校生などを対象に農業に対する意識づくりの改革や啓発活動、農業体験、圃場見学会などの課外活動にも積極的に取り組んでいく。

また、担い手への農地集積集約化による大規模経営や、機械化一貫体系による省力化、ICT化の推進などがこれまで以上に重要になる。

新しい農業、魅力ある農業、安定した農業、儲かる農業の実現を目指し、しっかりと戦略を立てて取り組んでいく。

(問) 圃場整備についての考えを伺う。

(答) 意欲ある集落の取組を支援するための第一歩として現況利用図の作成に係る計画調査のための予算措置を講じるとともに、圃場整備を一つの契機として農業の維持、発展につなげるためにも、関係機関と連携を図りながら、その実現に向けて取り組んでいく。

荒井浩二議員

子ども医療費助成制度の拡充について

(問) 現在は中学生までとしている対象範囲を高校生まで拡大してはどうか。

(答) 県内では市町ごとに対象年齢や方法が異なり、11

市町が高校3年生の年度までを医療助成の対象としているが、医療費助成の対象年齢の拡大分は県による助成の適用外となり、また現物給付は国民健康保険に関する国庫負担が減額されるなどのペナルティが伴う。対象の拡大や現物給付によるペナルティの廃止を、市長会等を通じて国に要望している。

マイナンバーカードの普及と活用について

(問) 本市における将来の利活用について伺う。

(答) 住民票等のコンビニ交付サービス導入に向けた準備を進めている。

八溝そばブランドの育成と展開について

(問) ブランドの普及、育成の施策について伺う。

(答) これまでは「八溝そば」の商標権を有する弁天食品から、八溝そば推進協議会にのみ使用を認めていたが、ご好意により商標権を市に無償譲渡していただけることになった。



ブランド力向上を目指す八溝そば

9月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)		議案等	審議結果	議案等	審議結果
報告第1号	一般財団法人那須烏山市農業公社の経営状況説明書の提出について	報告	議案第3号	令和3年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決
報告第2号	令和2年度健全化判断比率及び資金不足比率について	報告	議案第4号	令和3年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第13号	那須烏山市教育委員会委員の任命同意について	同意	議案第5号	令和3年度那須烏山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第14号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	議案第6号	令和3年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
選挙第1号	那須烏山市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について	選挙	議案第15号	訴えの提起の変更に係る追認議決を求めることについて	可決
議案第7号	那須烏山市まち・ひと・しごと創生推進基金設置及び管理条例の制定について	可決	議案第16号	令和2年度那須烏山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第8号	那須烏山市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	可決	認定第3号	令和2年度那須烏山市熊田診療所特別会計決算の認定について	認定
議案第9号	那須烏山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決	認定第6号	令和2年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定
議案第11号	那須烏山市手数料条例の一部改正について	可決	認定第7号	令和2年度那須烏山市下水道事業特別会計決算の認定について	認定
議案第12号	那須烏山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	認定第8号	令和2年度那須烏山市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第1号	令和3年度那須烏山市一般会計補正予算(第4号)について	可決	追加議案第1号	令和3年度那須烏山市一般会計補正予算(第5号)について	可決
議案第2号	令和3年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決			

※掲載は採決順

(起立による採決)		議案等	審議結果	議員別賛否一覧														
				青木敏久	興野一美	堀江清一	荒井浩二	福田長弘	村上進一	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	浪井由放	沼田邦彦	中山五男	高田悦男
議案第10号	那須烏山市個人情報保護条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	那須烏山市議会議員定数条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○
認定第1号	令和2年度那須烏山市一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和2年度那須烏山市国民健康保険特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和2年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	令和2年度那須烏山市介護保険特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※掲載は採決順で浪井議長は採決に加わらない。 ※認定第1号～8号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決

主な質疑

9月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

那須烏山市まち・ひと・しごと創生推進基金設置及び管理条例の制定について

議員 国の認定を受けた地域再生計画に位置づけられる事業を推進するため財源として、企業版ふるさと納税の寄附金を複数年にわたり計画的に活用するための基金条例の制定とのだが、単年度で使うのが原則であるかのような説明であった。基金に積み立てる分はなくなってしまうのではないか。

答弁 ふるさと納税寄附金を複数年度にわたり活用する事業を実施するため制定する条例である。各社、各事業所からいただいた寄附金を一旦基金に積み立てて、複数年度にわたって支出するという原則になっている。

那須烏山市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について

議員 一部免責の対象となるのは、善意かつ重大な過失がない場合にとあるが、誰がその過失を認めるのか伺う。また、市長が6、副市長が4等々あるが、これは損害賠償額について市長の場合、年俸の6割を負担し、残りの4割は免除するのか伺う。

答弁 住民訴訟により、裁判所で請求を命じる判決が確定する際、善意かつ

重大な過失がないかどうかについて、条例適用も含め裁判所が判断することになる。免責については、市長、副市長等、農業委員会委員等、職員、それぞれに定めた数に1年間の報酬を掛けた金額を控除した額が、免責の上限額になる。

令和3年度那須烏山市一般会計補正予算(第4号)について

議員 ワクチン接種関係の予算は6月補正で既に1億2300万円ほど計上してある。今回も2468万4000円計上しているが、市民の2回目接種が終わるまでの予算は幾らかかるのか、その総予算額について伺う。

答弁 今回の補正は、65歳以上のワクチン接種を7月末までに終了しなければならぬことによる前倒しに伴う経費の計上である。時間の延長や日程の追加、それに伴い医師

や看護師が増えたことによる増額である。併せて、接種年齢が16歳から12歳に引き下がったことによる追加の経費で計上した。

ワクチン接種は、11月末までに終了するように進んでいるが、11月末までに、体調の変化等で2回目の接種ができなかった方や、12月以降に12歳になるお子さんなどの対応が決まってくれば、今後の予算についても変更もある。総予算額がどのぐらいになるのか申し上げることができない。

令和2年度決算に関する総括質疑

議員 地域おこし協力隊員の募集と制度の活用が進展していないが、今後の方向性を伺う。

答弁 採用は低迷しているが、引き続き移住促進やシティプロモーションの分野で隊員を採用できるように努力する。

議員 熊田診療所運営基金が枯渇した場合の対応策について伺う。

答弁 一般会計からの繰入れしかないが、それ以前に、収入増、支出減を見越した経営改善策を所長等と検討する。

議員 ジオパーク構想事業について、普及啓発は盛んだが、現地に案内板などが少ない。案内板の設置と事業推進の課題を伺う。

答弁 市民への周知不足が課題である。案内板の設置は市の指定文化財等の看板設置計画の中で検討し、市民が興味を持つてもらえるようにする。

議員 修学旅行のキャンセル費の内容と今年度の状況について伺う。

答弁 キャンセル費は烏山中学校で当初、京都方面を予定していたが、コロナ禍により直前に福島方面1泊に変えたために発生したものである。今年度の修学旅行は、両中学校とも延期しているの

議員 市営住宅の老朽化が進む中、一部取り壊す計画とのだが、現状と今後の計画を伺う。

答弁 全112戸のうち20戸は募集をかけず処分していく。入居可能な92戸は満室である。今後不足する場合は民間アパート等への家賃補助で対応していきたい。

議員 消防団の定員割れの状況と統合計画について伺う。

答弁 定員に満たない分団は第2、3、4、6、7分団。特に少ない第3、6、7分団については、今後統廃合を含めた検討をしていく。

議員 生ごみ減量と資源化は、人口減少に追いついていない。各種対策は市民が実行して初めて効果が出る。3現主義(現在、現実、現場)で地道に指

導し定着させる活動が重要だが見解を伺う。

答弁 ごみ分別については、分別辞典を作成し広報紙に6回連続で掲載した。自治会から出前講座の依頼が多く、今後も啓発活動に取り組んで行く。

議員 監査委員から、経験豊富な専門職の育成と法令への適正な対応が必要と指摘されたが、具体的内容を伺う。

答弁 工事検査の技術職や保健師、看護師等の人材育成及び法令等に関して適正な対応を行うということである。



工事検査に携わる技術職員

議員 住宅リフォーム助成事業は、ある程度効果があつたため廃止することだが、本事業は地元業者を支援し経済活性化を図る目的の事業である。何故本事業を廃止したのか理由を伺う。

答弁 助成事業を10年実施し一定の成果があつたが、市内で検討した結果、本事業を廃止し、空き家バンク住宅改修補助金を新設した。市民の要望を考慮し継続を検討する。

令和2年度決算審査

令和2年度一般会計、6特別会計、水道事業会計の決算については、所管の常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。ここでは、各常任委員会の審査の中で出された意見等で、本会議において報告された内容を掲載します。

総務企画常任委員会

- ◎所管する課等
- 総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

総合政策課

○ふるさと納税の寄附件数については年々増加傾向にあるが、第2次総合計画目標達成や自主財源確保に向け、更なる返礼品の拡充を図るとともに本市の魅力発信に努められたい。

○企業版ふるさと納税については、市まち・ひと・しごと創生推進計画に基づき、制度の周知を図り財源確保に努めるとともに、各種事業の取組を推進されたい。

○財政運営について、関係各課と連携し、自主財源の確保及び補助金、交付金、起債、交付税等の有利な財源確保に努められたい。

○まちづくり課
○定住促進について、関係課と連携し市民が転入・転出する異動事由を分析するなど、移住・定住の調査研究に努められたい。

○地域おこし協力隊員の採用にあたっては、市の活動テーマを増やし、隊員の目標や意向、活動内容とのマッチングを十分行うとともに、試用期間を設けるなど更なるサポート体制の拡充に努められたい。

○JR烏山線の利用者増加の策として、利用者や鉄道ファンなどに向けたノベルティを製作するなど、利用向上を目指し工夫されたい。

○契約保証金の取扱いについて、関係課に周知の徹底を図るとともに、長期継続契約においては契約年数に応じた納入方法について検討されたい。事業者との長期継続契約の際のリスクに鑑み、今後は事業者の負担にならない範囲での納入方法について調整を図られたい。

○「防災Infoなすからすやま」の配信について、戸別受信機や防災アプリ「@InfoCanai」の周知拡大に努め、災害発生時における市民の情報伝達手段の確保に努められたい。

○年々激甚化する災害により、通常業務に加え、災



市武道館で行うワクチン接種

害対応による職員の負担も大きくなってきていることから、災害に対する知識や経験が豊富な職員の配置を検討されたい。

○大口滞納については、県と連携した共同催告や徴収等にも取り組み、長年の懸案事項であった大口滞納法人の不動産公売を実施したことに対して評価する。今後も大口滞納に対する徴収の強化と徴収率の向上を図られたい。

○市税の納付方法については、キャッシュレス決済を含め拡充に努めるとともに、市ホームページ等で周知を図られたい。今後は、税証明書等コンビニ交付が出来るようサービス向上に努められたい。



キャッシュレスで決済出来る税金や公共料金

文教福祉常任委員会

○所管する課

市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課及び生涯学習課

市民課

○来庁者への挨拶を積極的に行われ好感が持てるが、今後も更に親しみや

すい市役所の雰囲気づくりを心掛けられたい。

○マイナンバーカードについて、関係課と連携しながら、機会を捉えて必要性や利便性の周知を図り、交付率向上に努められたい。

○熊田診療所について、地域住民の意向も踏まえながら、今後の運営の方向性を検討するとともに、へき地診療所の役割を果たし、地域医療を担う医療機関として存続を図られたい。

健康福祉課

○避難行動要支援者名簿を作成し、関係者に配付した。平時からの見守り活動により、名簿登録者の生活や身体状況等の変化を把握し、随時名簿の記載事項を更新することで、災害時の避難支援をより実効性のあるものとされたい。

○新型コロナウイルスワクチン接種について、正解の分からない中で手探りの対応を迫られ、年度末に65歳以上の市民に対し、通知をいち早く発送した。結果的には混乱が生じてしまったが、今後はこれまでのノウハウを生かし、ワクチン接種にかかる国の動向を注視しながら、迅速かつ効果的に接種を推進し、接種率向上に努められたい。

○健康マイレージ事業は、若い世代に積極的に周知を図ったことにより、コロナ禍にもかかわらず参加が増えた。事業への健康づくりから自ら取り組みことで、生活習慣病等の予防や介護予防につながるため、今後も更に事業を推進されたい。

○ここにこ保育園をつくり幼稚園に統合・再編した認定こども園は、公設を予定しているが、出生数の推移や市内保育施設の整備状況、建設にかかる費用負担等を総合的に考慮し、民設化も含めて再度検討されたい。

○市立保育園、幼稚園における新型コロナウイルス感染症対策及び感染者が確認された際の対応マニュアルは、最新の情報や知見に基づき随時見直しを図られたい。

○英語コミュニケーション推進事業として、外国語指導助手(ALT)を小中学校に配置している。ALTの選任に当たっては、派遣業者任せにせず、望ましい人材の派遣を要望されたい。

○児童生徒一人一台の端末(まなびPC)及び高速大容量の通信ネットワーク整備事業を完了した。今後はまなびPCの安全・安心な使い方を検証し、効果的に活用されたい。

○地元生産者や農産物直売所等と連携し、学校給食における地産地消を推進されたい。



まなびPCを活用した授業

生涯学習課

○図書館に電子書籍を導入し、図書館機能の充実を図られたい。また、烏山図書館については、公共施設等総合管理計画に基づき、今後の方向性を検討されたい。

○公共下水道処理区域内の公民館、運動施設において、下水道に接続していない施設がある。関係法令等に基づき、遅滞なく適正に対応されたい。

○歴史的価値の高い烏山城跡は、国史跡指定を目指し、地権者の協力を得ながら土地の公有化を図り、保存及び文化的活用を努められたい。

経済建設常任委員会

○所管する課等

農政課、商工観光課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

農政課

○八溝そば消費拡大応援キャンペーン事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により消費が落ち込む八溝そばの消費拡大には大きな効果があった

が、更なる取扱店の拡大を図り、八溝そばの安定した流通の確保に努められたい。

○市の特産品である中山かぼちゃについて、関係機関と連携し、ブランド品として高い品質を維持しながらも市内全域に生産拡大を図り、担い手の育成支援に努められたい。

○令和元年東日本台風による農地・農業用施設の被害復旧について、被災した農家に対する迅速な支援においては大きい評価するところであり、今後迅速かつ円滑な支援に努められたい。

商工観光課

○龍門ふるさと民芸館について、民話アニメーションや観光周遊システムを活用したデジタル観光を推進し、新型コロナウイルス感染症の終息後を見据えた賑わいの拠点施設として、交流人口の増加や経済効果を高める取組に努められたい。



リニューアルされた龍門ふるさと民芸館

○商工振興について、商工会会員の加入促進を図り、

本市の商工業の持続的な発展を支援するとともに、新型コロナウイルス感染症等の社会情勢の変化を踏まえ、引き続き事業者の支援に努められたい。

○市道等の維持管理について、市民生活の利便性の向上を図るため自治会等が行う道路愛護活動を支援するとともに、道路や歩道に張り出した樹木は、通行の妨げや重大な事故に繋がる危険性が高いことから、行政と地元自治会とが連携し所有者への適切な指導を行うなど、道路環境の適正な維持管理に努められたい。

○公園管理について、効果的かつ効果的な維持管理を進めるためにも、有利な財源措置や新たな都市公園の設置に関し調査研究に努められたい。

○道路整備について、限られた予算の中で事業を進めているところではあるが、引き続き社会資本整備総合交付金や起債等の有利な財源確保に努め、市民生活や経済活動に必要な道路整備事業を推進されたい。

上下水道課

○水道事業の有収率について、全国類似団体と比較しても低位であり、水道事業長期更新計画や水道管路更新計画に基づき老朽化した管路の更新を図り、更なる有収率の向上に努められたい。

○令和元年東日本台風により水道施設は甚大な被害を受け、国庫補助を活用し災害復旧工事や浸水対策工事を実施したところであるが、今後も災害に強いライフライン機能の構築を図るとともに、危機管理体制を強化するためにも技術者の育成や水道技術の継承に努められたい。

○下水道事業について、烏山中央処理区の水洗化率は、漸増傾向であるものの、南那須処理区と比較すると依然として低位であることから、水洗化率の向上が図れるよう下水道の加入促進に努めるとともに、区域外においては、今後も合併浄化槽の普及啓発を図り、環境整備の向上に努められたい。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。傍聴を希望される方は、市役所南那須庁舎3階までお越しください。議会の日程等については、気軽に議会事務局にお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

8月臨時会

久保居光一郎前議長の逝去に伴う第4回8月臨時会が8月6日(金)に開催され、新たに正副議長が選出されました。

議長 洪井 由放
副議長 小堀 道和

また、委員会等の構成に変更がありました。

- ◆議会運営委員会 委員長 田島 信二
- ◆議会広報委員会 委員 小堀 道和
- ◆南那須地区広域行政事務組合議会議員 洪井 由放

議長就任あいさつ

すべての議員の皆様のご推挙を頂き、令和3年8月6日に開催された臨時会において第11代議長に就任させていただきました。身に余る光栄であり、その責任



議案等		審議結果
選挙第1号	議長の選挙について	選挙
選挙第2号	南那須地区広域行政事務組合議会議員の選挙について	選挙
選挙第3号	副議長の選挙について	選挙
報告第1号	議会広報委員会委員の選任について	報告
報告第2号	議会運営委員会委員の選任について	報告
報告第3号	議会運営委員会委員長及び副委員長の報告について	報告

議員定数削減

9月定例会において議員発議により、次の市議会議員選挙から議員定数を現行の17名から1名減の16名にするため、「市議会議員定数条例」を一部改正しました。

本条例を改正するにあたっては、「これ以上の削減は本市に議員空白地域が広がり、地域間格差の拡大が危惧され、地域の要求や声が行政に届きにくくなる。」という反対意見や、「本市の人口規模、財政状況が右肩下がりとなっており、今後もこの状況が続くことが予想される。したがって、議員定数の削減はやむを得ない。」という賛成意見がありました。採決の結果、賛成多数で本条例は可決されました。

意見書提出

9月定例会において常任委員会へ付託した「核兵器禁止条約への参加、批准を求める意見書提出を求める陳情書」の採択を受け、9月21日の議会最終日において、「核兵器禁止条約への参加、批准を求める意見書」を内閣総理大臣に提出しました。

また、「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書」を関係行政庁に提出しました。

9月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第3号	老朽危険空き家除却費補助金について	なし	採択
陳情書第4号	核兵器禁止条約への参加、批准を求める意見書提出を求める陳情書	なし	採択

9月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
9月7日(火)	開会・報告・上程・採決・付託	4人
9月8日(水)	一般質問	5人
9月9日(木)	一般質問	4人
9月10日(金)	一般質問	4人
9月13日(月)	決算総括質疑	0人
9月21日(火)	上程・報告・採決・閉会	0人
計		17人

烏山学+成果発表会

10月4日(月)に議場において、「烏山学+成果発表会」が行われました。烏山高等学校の生徒が、地域の課題解決に向けた取組を行う「烏山学」で学んだことをもとに、研究成果を発表しました。

- ・ 3年生の代表生徒23名が発表した7つのテーマは、次のとおりです。
- ・ 烏山グルメ
- ・ 那須烏山市に観光客を集めよう
- ・ 水害に強い町を作る
- ・ 絶え間ない子育て支援
- ・ ニュースポーツで烏山を盛り上げる
- ・ 中山かぼちゃを使って那須烏山市の農業を復活させるために
- ・ 那須烏山市にドローンを配備しよう

研究成果発表後には、議員から研究成果を讃え、今後の市政に活かすための提案などが出されました。



成果発表を行う烏山高等学校の生徒

あとかぎ

全国の伝統工芸の現状は非常に厳しい状況におかれています。具体的には、担い手となる後継者不足や原材料の生産者の減少により原料確保が難しくなるなど、多くの問題に直面しています。

私も和紙作りに携わっていますが、今後どうなるのか不安は尽きません。和紙作りは一人ではできないのではなく、多くの関係者がいてこそ長く継続できてきたのです。

これは多くの地域にみられる農業従事者の減少や、地域における伝統行事の継承など地域が抱える問題にも通じるものかもしれません。

一つの例として、現在烏山高等学校では、烏山学という、授業を通して地域の課題解決に向けた取組を行っています。

烏山学の取組から感じたことは、地域が抱える課題に関して改めて知る事で、新しい気づきを得ることが出来るのではという事でした。それが全てとは思いませんが、これからのヒントに繋がると思います。

温故知新という言葉があります。良き伝統から新しい将来に繋げることで地域の伝統文化を継承していきたいと思えます。



発行 那須烏山市議会
編集 議会広報委員会
事務局 0287-88-7114

12月定例会は、11月30日(火)開会予定です。

正式な日程は11月24日(水)に開催される議会運営委員会で決定されます。